

# 西ボラ・かわらばん

発行 西区ボランティアセンター  
〒733-8535 広島市西区福島町二丁目2番1号 広島市西区社会福祉協議会内  
Tel (082) 294-0104 Fax (082) 291-7096  
E-mail [nishi@shakyohiroshima-city.or.jp](mailto:nishi@shakyohiroshima-city.or.jp)  
ホームページ <http://www.shakyo-hiroshima.jp/nishi>

## ボランティア交流会 報告

### 「食事会&交流会」～これからもよろしく～

2月15日(月)ボラ連・利用連の皆さんをはじめ、個人登録をして活動している皆さんが一堂に会し、この日お弁当を囲みながらそれぞれの活動や思いなど情報交換を行いました。午後からの交流会では朗読やダンス、ゲームがあり、体も心もしっかりほぐれたのでは。参加者78名、西区地域福祉センター4階は冬とは思えないくらいヒートアップしていました。

### 交流会プログラム

- 朗読 ☆じゅげむ  
☆サリマツ川柳  
～音訳ボランティアまめの会～
- 座ってダンス  
☆好きになった人  
☆きよしのズンドコ節  
☆それゆけカーブ  
～フォークソング100&ゆうゆう～
- ゲーム  
☆二人一組ゲーム  
☆おさるのかごやの歌と踊り  
☆じゃんけんゲーム  
～井上資也&よかよか倶楽部～



### 参加者の声

- ・交流会の担当された皆さんすごい!!
- ・元気とパワーをもらった。
- ・朗読もダンスもゲームも本当に楽しかった。
- ・皆さんの熱いチカラと心に感動した。
- ・来年も参加したい!



### ボランティア募集

**予告** フラワーフェスティバル ふれあい広場等の活動  
日時 5月3日(火)、4日(水)、5日(木)  
場所 フラワーフェスティバルの会場  
内容 模擬店の手伝い、ステージの準備、パレードの付添など  
※4月以降、募集内容の詳細がわかる予定。

### 講座情報

**☆手話ボランティア入門講座(夜の部)**  
日時 5月13日(金)～7月15日(金) 19:00～20:45  
場所 西区地域福祉センター 4階  
定員 30名(定員になり次第締切)  
参加費 1,000円(資料代として)  
共催 手話サークル クローバー

**☆手話ボランティア入門講座(昼の部)**  
日時 5月17日(火)～7月19日(火) 13:30～15:30  
場所 西区地域福祉センター 4階  
定員 20名(定員になり次第締切)  
参加費 1,000円(資料代として)  
共催 手話サークル 麦

### イベント情報

**☆東日本大震災を忘れない追悼のつどい2016 広島**  
日程 3月11日(金) 17:30～19:30  
会場 平和記念公園・元安川「親水テラス」  
内容 「3.11」の形に配置した500個のキャンドルに火を灯し、参加者全員で黙とうをします。  
主催 「3.11 東日本大震災を忘れない追悼のつどい2016 広島」実行委員会他21団体及び個人  
後援 広島市

### 助成金情報

**☆みずほ教育福祉財団**  
第33回「老後を豊かにするボランティア活動資金助成事業」  
実施主体 公益財団法人 みずほ教育福祉財団  
対助対象 地域において高齢者を主な対象としている比較的小規模なボランティアグループの内、次の要件を満たすもの  
(必要要件)  
①登録ボランティアスタッフ10～50名  
②グループ結成以来の活動実績が2年以上  
③本助成を過去3年以内に受けていないこと  
④グループ名義の金融機関口座を保有し、規約(会則)、会計報告が整備されていること

対象内容 (1)高齢者を対象とした生活支援サービス  
(2)高齢者と他世代との交流を図る活動  
(3)高齢者による地域環境の改善につながる活動  
(4)レクを通じて高齢者の生活を豊かにする活動

助成金額 1グループにつき10万円を上限  
応募方法 所定の申請書に、都道府県・指定都市又は市区町村社会福祉協議会の推薦を受け、本財団に直接郵送する。  
募集期限 平成28年5月31日(火)必着

### ボランティアセンター今後の予定

☆H28年度第1回ボラ連・利用連合同会議  
日時 4月11日(月)  
13:30～15:30  
場所 西区地域福祉センター4階

☆西ボラ・かわらばん  
H28年度発行予定  
156号 5月  
157号 7月  
158号 11月  
159号 2月(H29)

※掲載記事のご希望がありましたら、発行の1か月前までにご相談ください。

### ボランティア活動保険

#### 更新のお願い

ボランティア活動保険更新の時期になりました。現在加入されている保険の補償が3月31日で終わります。更新の手続きをお願いします。

次期の補償期間については、3月末までの手続きであれば、4月1日からとなり、4月1日以降の手続きであれば、手続きをされた翌日から来年3月31日となります。

加入受付は平日8:30から17:15に西区社会福祉協議会までお越しください。

掛け金は下記のとおりです。  
基本タイプ Aプラン 300円  
Bプラン 450円  
天災タイプ Aプラン 430円  
Bプラン 650円

### 編集雑記

年明けに梅の便りが報じられました。今年の桜前線はどうでしょうか?

昨年から編集のお手伝いをさせてもらっています。今後ともよろしくお祈りします。

(九兵衛)

### この広報紙のすべての 問合せ及び申込

広島市西区社会福祉協議会  
(古川・原田)  
Tel 294-0104 Fax 291-7096  
E-mail: [nishi@shakyohiroshima-city.or.jp](mailto:nishi@shakyohiroshima-city.or.jp)

# おめでとうございます

## 厚生労働大臣表彰

テープ・カナリアの表彰を頂いて

～中途視覚障害者のつどい「カナリアの会」と共に歩んで～

昨年11月17日に中途視覚障害者のつどい「カナリアの会」30周年記念大会が、盛大に開催されました。

その数日後、「テープ・カナリア」が厚生労働大臣表彰を頂きました。この偶然に、驚きました。テープ・カナリアも532号になりました。

中広会館より地域福祉センターに移ってから他の会も増えたので、月2回の発送が月1回の発送になりました。このテープは、カナリアの会の例会案内・行事報告・会員のお便り等々、カナリアの会の方の声を少しでも多く入れるようにしています。NHK ラジオの川柳をやっている人もいて、時に入選や佳作に選ばれます。それをテープに入れて、皆で喜び合います。例会に来れない人もテープを聴くことで、例会に来た気持ちになれます。

しかし30年の間には、カナリアの会の会員のたくさんの方が亡くなりました。

また、CD化はカナリアの会の森井会長にお世話になっています。今年中にはデジタル化が課題です。※テープからCDに変換した場合、音が悪くなります。

テープ・カナリア 山肩政子

## 広島市長表彰

西区社協から広島市長表彰のお話をいただいた時「えっ、私達に表彰ってどうして？」と思いました。すぐには思い当りませんでした。

手話サークル麦は、中広会館で6年、平成4年から西区地域福祉センターに移りました。25年が雲の流れのように早い歳月でした。25年かぁ、思えば入門講座のたびに人が入れ替わりでした。手話がうまくなり、成長途中の残念な時期に家族の都合で転居した人もいました。でも、長い間活動してくれてくれた人もいてメンバーもここまでついてきてくれました。サークルの目標は、活動を通して災害や困ったときに場所を問わず手話で通じ合える大切さを知ることだと思います。「麦」は根が強く、踏まれても踏まれても再び芽が伸びてきます。その「麦」のようにサークルメンバーとともにこれからも続けていきたいです。

手話サークル「麦」鶴川偕子

## 広島市社会福祉協議会会長表彰

広島市社会福祉協議会会長表彰をいただき、ありがとうございました。

和の手仕事 宮崎 暁美

## 介護保険について学びました



## 公開講座「介護保険の改正ポイント～みんなで考えるきっかけに～」を受講して

介護保険も早15年、5年毎の見直しで、昨年4月は「中重度及び認知症にウエイトを置く」となり、軽度の人をどう支えていくかが課題となっています。

広島市も協働労働とか団地の活性化などの対策を打ち出しています。自分の住んでいる地域でどのようなことができるかが問われてきます。介護保険があるから安心の時代は終わりました。住民参加のまちづくりに、これまで培ってきたボランティア力を発揮して、自分のためにも生きがいを持って活動していきたいと改めて思われた講座でした。

れんげの会 小松美鈴



突撃取材!!



## 崇徳高校インターアクトクラブ

「第19回ボランティア・スピリット賞」(青少年のボランティア活動を支援する)において崇徳高校2年多留陽葉さんが文部科学大臣賞を今年度受賞されました。多留さんは、現在同校インターアクトクラブの部長をされています。そこで今回インターアクトクラブの取材をお願いし、2月2日(火)午後4時部会終了後に編集委員の久保田と原田が伺いました。

現在、「インターアクトクラブ」は1年生16名、2年生7名の23名の部員がおられます。この日は部長のほか3名の部員と顧問の鴨谷先生にお話を伺いました。

多留部長の「依頼があれば極力対応をモットー」という言葉を皮切りに、他の部員からはひゅーるぼんでの活動、広島県立中央特別支援学校のブライッド・リトリブール部との交流などの活動を詳しく伺いました。

また、昨年安佐ロータリークラブと提携したことで部の組織改編を行い、部長に集中しがちな負担も理事を設けることで負担の分散化や責任感の育成などにつながったこと、社会貢献の認識につながったことを鴨谷先生から伺いました。

今回の取材で、ボランティアの「つなぐ力」の魅力も教えていただきました。というのは、作業所のバト支援活動や西区社協のヤングボランティアスクールでの活動から、文化祭でグッズ販売の協力をしようと声が上がって実現したそうです。

「今回の表彰は地道な活動の積み重ねの結果」と多留部長の言葉通り、部員の皆さんも活動のひとつひとつを大切に思い、活動をどうつなげ、どう広げていくのかという視点を外さない、そんな「ボランティアの息吹」を体感しました。

今「崇徳学園献血に行こうプロジェクト2016」として、ボランティアの輪を学校全体へ広げようという取り組みを企画。このプロジェクトの責任者からは企画の内容はもちろん、献血事業についての詳しい説明もあり、きっと生徒の皆さんの心にも届くものと確信して取材を終えました。

取材後、ふと制服ボードを見ると「アート・メッセ2016」のボランティア分担表が。またひとつ、インターアクトの心が広がっていきます。

約1時間色々なお話を伺いましたが、すべて記事にできないことをお詫びし、今回の取材報告とします。インターアクトクラブの皆さん、ありがとうございました。

ボランティアコーディネーター

## 障害児者交流事業「もちつき交流会」 2月6日(土) 於 おりづる作業所&夢トピア

今回、もちつき交流会に参加してみて色々なことを体験させてもらいました。自分は高校時代に先生に勧められてもちつき交流会や他のイベントに参加してきましたが、毎年たくさんの方と交流が出来、楽しい時間を一緒に過ごさせて頂き、西区社協の方、父母の会の方、高校時代にボランティア活動を紹介して下さった先生には、今でも感謝の気持ちでいっぱいです。

今回の活動には後輩も参加してくれ、今後も後輩と共に、ボランティア活動に参加していきたいと思えます。

広島修道大学 林 凌平

わたしたちはもちつき交流会で、たくさんの地域の方たちとふれあいながら楽しく活動することができました！年配の方に教えてもらいながらのもちづくりは本当に楽しくて、綺麗に丸めることが出来るようになったときはとても達成感がありました。子供たちも喜んでくれていて、わたしたちも元気になることが出来ました！

あまり経験することのないおもちづくりを体験することが出来て、とても楽しかったです！

安田ボランティア部